

ふるさと探訪

第53回 千町(せんじょう)の石積棚田



千町集落は西条地区の山間部にある緑豊かな集落です。

今から40年ぐらい前には、千枚を超える石積棚田が山の斜面に広がり、非常に美しい山村の風景を形成していました。

しかし、生産者の高齢化とともに耕作放棄地が増加し、先人が辛苦とともに造り上げ

た棚田の景色が、自然消滅の危機を迎えていました。

こうした状況のなか、棚田の保全管理や景観の保持、さらには地域の活性化に取り組む活動が始まっています。

西条農業高等学校では、生徒・教諭にボランティアも加わり、借り受けた棚田での除草や石積みの修復作業、水稻や雑穀・コスモス栽培などに取り組んでいます。また、JA西条でも、田植えから刈り取りまで、一般消費者に棚田での米作りを体験してもらう事業を行っています。

こうした取り組みにより、集落の人たちとの交流の輪が



▲先人の苦勞がしのばれる石積み



▲JA西条の棚田を守る取り組み



広がるとともに、千町の美観が次代に引き継がれることが大きく期待されています。

